

# 原田式智齒抜去鉗子

一般医療機器 抜歯用鉗子 届出番号 13B3X00365000105

はじめに

最後方臼歯とくに智齒の抜歯には困難な症例が多く  
歯科医師を悩ませます。

原田良種 先生はフィジックス氏の下顎智齒用鉗子の  
形態に改良を加え、バリー氏のエレベーターを  
左右組み合わせ、片手で扱えるようにし、最後臼歯  
とくに智齒の抜歯を楽にした鉗子を開発されました。  
抜歯の前にレントゲンで齒根の状態をみて、齒根が  
遠心方向に曲がっていて単純な形態をした齒牙は  
適応症です。反対に多根齒で複雑な形態をしている  
齒牙は非適応症です。



原田式智齒鉗子

使用方法：通法にしたがい麻酔をし、環状じん帯を切断し、上顎智齒を例に説明すると

- 1 智齒と第二大臼齒の隣接面に鉗子を挿入し、鉗子の先端を智齒の根面に接触させ根方向に深く押し込みます。
- 2 鉗子をかろく握りながら手元を下げつつ右側智齒ならば右外側（左智齒ならば左外側）方向へ回転すると齒牙は簡単に脱臼します。（下顎は鉗子を内側へ回転する）
- 3 脱臼した齒牙は適当な鉗子で摘出すれば抜歯が終了です。



原田式智齒鉗子

嚙部先端を智齒と第二大臼齒の間に挿入し把握すると、智齒が脱臼します。



細型智齒鉗子  
原田式の細長タイプ



大川式智齒鉗子



遠藤式智齒鉗子

## (有)木村鉗子製作所

一般医療機器 製造販売業 13B3X00365

131-0033 東京都墨田区向島 1-18-9  
TEL.FAX 03-3623-1232  
E-mail [Kimura.kanshi@nifty.com](mailto:Kimura.kanshi@nifty.com)  
<http://www.kimura-kanshi.com/>